

海上に浮かぶ大鳥居が 象徴的な世界文化遺産の島



世界文化遺産である厳島神社、弥山を中心とした歴史・文化・自然の魅力に加え、夜のライトアップ・人力車・様々なイベント等により、外国人観光客の受入れ体制を強化。平成18年の外国人来訪者数は前年比約30%増。

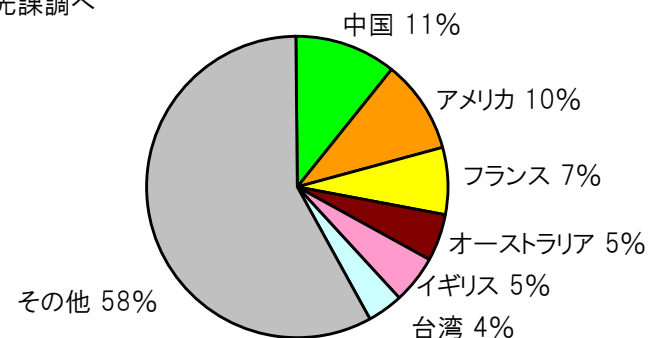


宮島「SAMURAI」プログラム

外国人来訪者数

廿日市市商工観光課調べ

平成14年(2002)	6.5万人
平成15年(2003)	5.7万人
平成16年(2004)	5.4万人
平成17年(2005)	7.2万人
平成18年(2006)	9.5万人



魅力

自然 歴史・文化

「聖なる島」宮島！

瀬戸内海に浮かぶ歴史と浪漫の島 宮島。世界文化遺産に登録されている区域は厳島神社を中心に、大鳥居から背後の弥山(みせん)原始林まで、全島の約14%を占める。主峰弥山は、弘法大師が開創したと伝えられる霊山で、ロープウェーをはじめいくつもの登山コースがあり、山頂近くには数多くの史跡が点在する。近年、山歩きへの関心が高まっており、外国人の登山者も見受けられる。また、紅葉谷公園はその名のとおり紅葉の一大名所であり、毎年11月は、紅葉で鮮やかに彩られ、宮島が最も際立つ時である。

取組

- PR・誘致活動
- 案内・情報提供
- 人材育成
- 体験・イベント開催

観光案内所を多言語案内にリニューアル

外国人観光客への情報提供を強化するため、案内所のリニューアルにより4カ国語(日・英・中・韓)での案内表示が可能となった。また、ホームページの6ヶ国語(日・英・中・韓・仏・独)化とともに、パンフレットも8ヶ国語(日・英・中・韓・仏・独・西・伊)表記とし、案内情報の多言語化に取り組んでいる。

日本文化体験事業

外国人が日本文化を体験できる事業として、歴史探索と禅・茶道、鎧の衣装着付け、琵琶・篠笛の調べ等の体験の取り組みを実施(英語対応)。

夜のまちの賑わい創出

従来、宮島では神聖なる島であることもあり、夜の賑わいとは縁遠かったが、昨今では、厳島神社のライトアップ、商店街のひめあかり、町屋通りの行灯など、宮島らしい夜をアピールして観光客がそぞろ歩きを楽しめるような取り組みを行っている。また、町屋どおりには、若者によるカフェやアトリエの運営等、新たな魅力を創出する取り組みも行っている。

音と光の幻想花「宮島水中花火大会」

毎年、宮島の夏を彩る一大イベントである。海上の台船から水中に投げ込まれた花火は、大音響とともに炸裂し、厳島神社大鳥居を幻想的に浮かび上がらせる。大鳥居をバックにした花火のポスターは海外から高い評価を受けている。



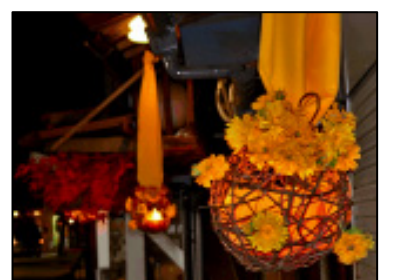
紅葉谷公園



弥山からの眺望



茶道体験



ひめあかり



宮島水中花火大会

廿日市市商工観光課 TEL:0829-20-0001
社団法人宮島観光協会 TEL:0829-44-2011

外国人で賑わうまち